

■ 開設年度		■ 開講部局	
2014		共通教育	
■ 科目名			
先人に学ぶリーダーシップ			
■ 英語科目名			
Japanese Leadership			
■ 前後期	■ 開講区分	■ 科目形態	■ 単位数
前期・後期	毎週	講義	2
■ (2 5 年度以降入学生) 中分類		■ (2 5 年度以降入学生) 小分類	
a. 実践・判断・精神力		2. 自己確立・他者理解を学ぶ	
■ (2 4 年度以前入学生) 大区分		■ (2 4 年度以前入学生) 中区分	
教養科目		分野2	
■ 受講学部学科			
全			
■ 担当教員		■ 担当教員所属	
奥健一郎		稲盛アカデミー	
■ 連絡先 (TEL)		■ 連絡先 (MAIL)	
099-285-8329		koku@eng.kagoshima-u.ac.jp	
■ オフィスアワー (授業時間外の対応)			
講義終了後。もしくは時間調整の上で実施。			
■ 共同担当教員			
なし			
■ メインキーワード		■ サブキーワード	
■ 授業概要 (目的・内容・方法)			
先人のリーダー-シップを、常に現代社会との事象と関連づけながら講義をする。 人間としての生き方・モラルのあるべき姿を、彼らの生き様を通じて様々な感じ取れる内容の講義とする。 最終的には、様々なケースを通じて、自分なりの人生観・リーダーシップの枠組みを構築できることを目的とする。 取り上げる人物は、以下を予定。 1．聖徳太子 2．吉田松陰 3．西郷隆盛 4．坂本竜馬 5．新渡戸稲造 6．松下幸之助 7．安岡正篤 8．中村天風			
■ 学習目標			
日本を中心とする賢人のリーダー-シップを、人間としていかに生くべきか? という視点から講義する。 わが国において先人がこれまで築きあげてきた伝統・歴史・思想を通じ、人々をリードしていく上での考え方や道徳を考えることを学習目標とする。 そのために日本の伝統的思想・リーダー-シップを再評価し、次世代を担う人間としてのあり方を学生とともに考えていく授業とする。 自立できる人間形成に重点を置く。			
■ 授業計画 (1 5 回に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
現代社会において必要とされるリーダー-シップを、モラルの問題と関連させながら深めていく。 第 1 回 はじめに 第 2 回 日本の歴史の整理 第 3 回 先人の遺したもの 第 4 回 現代社会の課題 第 5 回 リーダー-シップの必要性 (1) 第 6 回 リーダー-シップの必要性 (2) 第 7 回 聖徳太子 第 8 回 吉田松陰 第 9 回 西郷隆盛 第 1 0 回 坂本竜馬 第 1 1 回 新渡戸稲造			

第 1 2 回 松下幸之助	
第 1 3 回 安岡正篤	
第 1 4 回 中村天風	
第 1 5 回 結び	
■ 授業外学習(予習・復習)	
フィードバックシートを通じて、復習に重点を置くこと	
■ 受講要件	■ 成績の評価基準
なし	授業中のフィードバックシートとレポートで総合的に成績評価をする。授業中の小テスト 5 割、レポート 5 割が大まかな目安。
■ 教科書	■ 参考書
参考書と資料配付を教科書的に利用。	講義中に指示する。
■ その他	
前後期共、同内容の講義を行う	